

立教大学学生による出前授業を実施しました。

9月14日(木)2校時・3校時の授業において、立教大学3年生内藤さん・2年生小澤さんを招聘して出前授業を実施しました。



本校では平成31年度にアントレプレナーシップ(起業家精神)教育を実施します。

アントレプレナーシップ教育とは、「社会問題や商品開発をテーマに、各グループで課題解決に向けて『提言』や『ものづくりのアイデア』を企画・検討する。これらの活動を通してリーダーシップやコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力等を醸成し、社会でたくましく生きる能力や態度の育成を図る。」教育です。



立教大学でこの授業を受けている学生から授業の様子をお聞きし、「本校でどのような授業スタイルを確立していけばよいか。」を検討するために、出前授業をお願いしました。

当日は「1年2組の社会と情報」の授業及び2・3年次生の「簿記」の授業で実施しましたが、生徒は大学生が提示した課題解決に向けてグループで検討し、見事解決に結びつけることができました。

アントレプレナーシップ教育では、課題解決に向けて自由に意見を述べ合い、調査・検討していきませんが、今回の出前授業の目的は、「リーダー及びリーダーシップ」とは何か?また、その違いは何か?を理解することです。

また、課題解決に向けて意見を出し合い、グループ内で検討し結論を出すことです。

1年次・2年次の授業においても見事解決でき、チームプレイを楽しんでいました。

